

## 「学生による授業評価 2008」の概要

### - 1 . 目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法及び学習支援システム等の改善に資することを目的とし、平成 17 年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。第 1 回の平成 17 年度は試行的な意味を持たせた内容であったが、第 2 回の平成 18 年度からは本格的な授業評価調査として実施している。第 4 回目となる今年度は、これまでの継続性を維持するため、第 2 回目以降と同様の調査内容で実施し、対象科目も学部と大学院の両方を対象としている。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……専攻または領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第 1 に、放送大学では、収録された放送授業を 4 年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第 2 に、放送大学の主任講師は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構

成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

## - 2 . 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目の放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する26項目の評定尺度質問である。その内容は、まず放送授業に関する評価、次いで印刷教材に関する評価、通信指導・単位認定試験に関する評価、そして全体評価と満足感である。その細目は「学習への取り組み状況」「放送授業の視聴状況、難しさ、分量の多さ」「講師の説明の分かりやすさ、熱意」「テレビまたはラジオに適した内容」「印刷教材の難しさ、分量の多さ、内容の適切さ」「通信指導のコメントの適切さ」「単位認定試験の適切さ」「興味・関心・知識の向上」「全体的な理解のしやすさ」そして「全体的な満足感」といったものである。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらった形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。実際に使用した調査票については121、122頁を参照されたい。

## - 3 . 方法と期間

評価の対象としたのは、平成20年度第1学期に本学で開講していた学部256科目、大

学院 75 科目、計 331 科目の放送授業のうち、開講 2 年目の科目、学部 65 科目、大学院 15 科目、計 80 科目である（表 1 - 1 参照）。開講 2 年目の科目を対象としたのは、3 年目以降の科目ではすでに次期に向けての改訂作業が進められていて授業改善という目的に十分役立てることができず、また開講したばかりの 1 年目の科目では結果が出て改訂までに間が空きすぎる等、本学の科目作成の特殊事情を勘案してのことである。またこのような選定システムにすることで、開設後 4 年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1 回授業評価の対象とされることになる。

調査票の配布は、これら 80 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 15,853 名、大学院 2,107 名、計 17,960 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

表 1 - 1 評価対象科目数及び有効回答数

【学部】

専攻	科目数		有効回答							
	平成20年度		平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基礎科目	22	14	1,377	23%	-	-	-	-	-	-
生活と福祉	38	9	751	13%	649	13%	366	12%	790	9%
発達と教育	39	9	795	14%	1,046	20%	466	15%	809	9%
社会と経済	40	9	801	14%	448	9%	895	29%	749	8%
産業と技術	31	5	449	8%	677	13%	-	-	1,833	20%
人間の探究	49	12	1,060	18%	1,786	35%	1,025	33%	2,582	29%
自然の理解	37	7	627	11%	526	10%	326	11%	2,210	25%
全体	256	65	5,860	100%	5,132	100%	3,078	100%	8,973	100%

構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

【大学院】

プログラム(群)	科目数		有効回答数							
	平成20年度		平成20年度		平成19年度		平成18年度			
	全開設	評価対象	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
総合文化(文化情報科学群)	17	4	238	25%	442	23%	512	32%		
総合文化(環境システム科学群)	13	1	64	7%	344	18%	439	28%		
政策経営	18	3	125	13%	487	25%	265	17%		
教育開発	14	4	282	30%	476	25%	201	13%		
臨床心理	13	3	240	25%	172	9%	172	11%		
全体	75	15	949	100%	1,921	100%	1,589	100%		

構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第1学期単位認定試験終了後の9月下旬から10月下旬までの約1ヶ月間とした。有効回答数は学部5,860票、大学院949票、計6,809票であった(表1-1参照)。無記名調査ながら、有効回答率は学部37.0%、大学院45.0%、全体で37.9%と低めであった。回収率の低さの要因はさまざまに考えられるが、昨年度と同様に科目登録者数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。なお、昨年度の有効回答率(学部37.1%、大学院45.6%、全体39.1%)と比較すると、学部・大学院別ではそれぞれほぼ同じ割合となっている。一方、全体では1.2ポイント下がっているが、これは有効回答率の高い大学院の対象人数が昨年度より少ないためである。

#### - 4 . 時系列分析

報告書の一部に第2回目(平成18年度)以降の調査との比較を掲載した。ただし、本調査は原則として開講2年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成される専攻(プログラム)を比較対象としてこそその意義が発揮されるが、対象科目は異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。なお、第1回目(平成17年度)の調査は、今回とは質問内容が異なる項目が多くあったため、時系列比較には入れていない。

#### - 5 . 回答者の特性

##### (1) 回答者の属性分布と母集団との比較

回答者の属性分布は、次頁の表1-2に示したとおりである。母集団(全受講登録者)の分布と比較すると、学部は性別では男性、年齢階層では50代以上の比率が母集団と比べ高くなっているが、学生種別では分布の偏りは少ない。一方、大学院は、性別では男性、年齢階層では60代以上の比率が、母集団のもの比べて高くなっている。さらに学生種では母集団と比べ修士全科生の比率が高く、修士選科生の比率が低くなっている。それぞれの属性別分析をする場合には問題はないが、全体の結果等を見る場合には、このような属性の偏りも考慮する必要がある。なお、ここで比率が高いからと言っても、それらの属性の回答率が高いことをただちに意味するものではないので注意していただきたい。たとえば、たまたま今回は男性の比率が多い科目が対象になったため、男性に偏った属性分布になっているということもありうるからである。

表 1 - 2 回答者の属性分布

[学部]

		20年度			19年度			18年度		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	44.9%	42.8%	2.1%	42.1%	42.2%	0.1%	42.9%	42.3%	0.6%
	女性	53.3%	57.2%	3.9%	55.7%	57.8%	2.1%	51.5%	57.7%	6.2%
年齢階層別	19歳以下	0.5%	1.0%	0.5%	0.4%	2.4%	2.0%	0.6%	1.2%	0.6%
	20～29歳	9.9%	18.3%	8.4%	11.4%	15.9%	4.5%	11.2%	15.8%	4.6%
	30～39歳	17.4%	23.9%	6.5%	20.5%	26.7%	6.2%	19.5%	27.9%	8.4%
	40～49歳	19.8%	22.0%	2.2%	20.7%	23.1%	2.4%	20.0%	23.4%	3.4%
	50～59歳	20.5%	18.0%	2.5%	20.8%	17.8%	3.0%	20.0%	18.0%	2.0%
	60～69歳	21.6%	16.8%	14.1%	16.4%	14.1%	10.1%	18.6%	13.7%	13.1%
	70歳以上	9.3%			7.8%			8.2%		
学生種別	全科履修生	74.8%	76.0%	1.2%	72.7%	69.6%	3.1%	71.4%	69.1%	2.3%
	選科履修生	16.9%	18.0%	1.1%	16.8%	22.5%	5.7%	18.9%	21.5%	2.6%
	科目履修生	5.8%	5.9%	0.1%	7.0%	7.9%	0.9%	6.7%	9.4%	2.7%
人数(N)		5,860		-	5,132		-	3,078		-

回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

[大学院]

		20年度			19年度			18年度		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団と の差
性別	男性	58.3%	54.2%	4.1%	57.9%	55.9%	2.0%	56.7%	54.3%	2.4%
	女性	39.6%	45.8%	6.2%	38.9%	44.1%	5.2%	36.1%	45.7%	9.6%
年齢階層別	20～29歳	3.1%	5.5%	2.4%	3.6%	6.1%	2.5%	4.8%	7.0%	2.2%
	30～39歳	17.9%	20.6%	2.7%	19.1%	21.0%	1.9%	18.1%	22.0%	3.9%
	40～49歳	24.6%	29.1%	4.5%	27.6%	31.8%	4.2%	27.1%	32.4%	5.3%
	50～59歳	25.5%	27.3%	1.8%	25.0%	25.4%	0.4%	22.8%	24.6%	1.8%
	60～69歳	17.5%	17.5%	10.2%	15.9%	15.7%	6.7%	15.9%	14.0%	11.3%
	70歳以上	10.2%			6.5%			9.4%		
学生種別	修士全科生	24.3%	17.4%	6.9%	31.7%	21.6%	10.1%	31.0%	19.7%	11.3%
	修士選科生	59.9%	70.0%	10.1%	52.3%	65.1%	12.8%	52.4%	63.4%	11.0%
	修士科目生	14.0%	12.6%	1.4%	13.4%	13.2%	0.2%	13.1%	16.9%	3.8%
人数(N)		949		-	1,921		-	1,589		-

回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

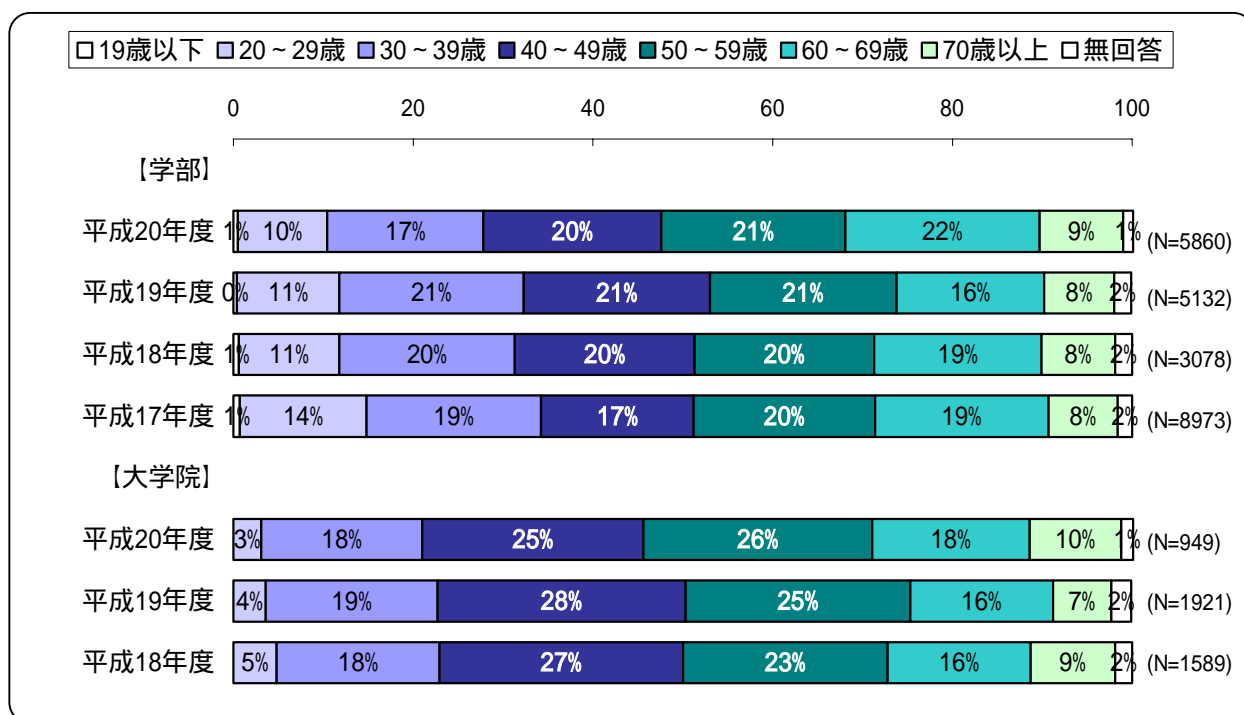
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

( 2 ) 年齢階層別回答者

年齢階層別に回答者の分布を見ると( 図 1 - 1 )、学部では30代～60代が中心であり、40代～60代がほぼ均等、30代がそれよりやや少ない分布になっている。昨年度と比べると、39歳以下の若い年代の割合が減少し、60歳以上の高齢者の割合が増加している。

大学院も30代～60代が中心であるが、学部と比べると40代・50代の割合が多くなっている。昨年度と比べると、学部同様、60歳以上がやや増えている。

図 1 - 1 年齢階層別回答者

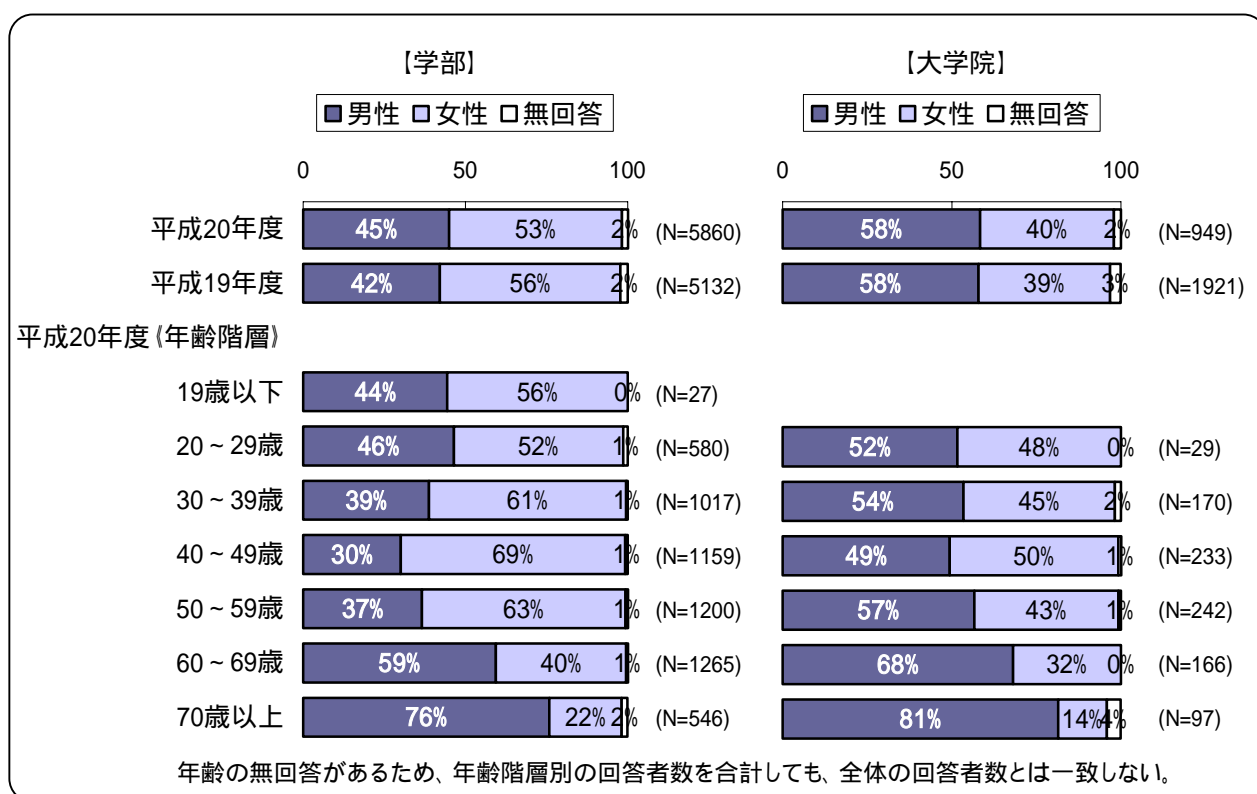


( 3 ) 性別回答者

回答者の性別（図 1 - 2 ）は、学部では男性 45%、女性 53%となっており、特に 30代～50代では女性が多く、60代以上では逆に男性の割合が多くなっている。

大学院は、男性 58%、女性 40%と男性の比率が高い。50歳以上では高齢者ほど男性が多くなっており、年齢別の分析の際には、これらの性別構成も念頭に置く必要がある。

図 1 - 2 性別回答者





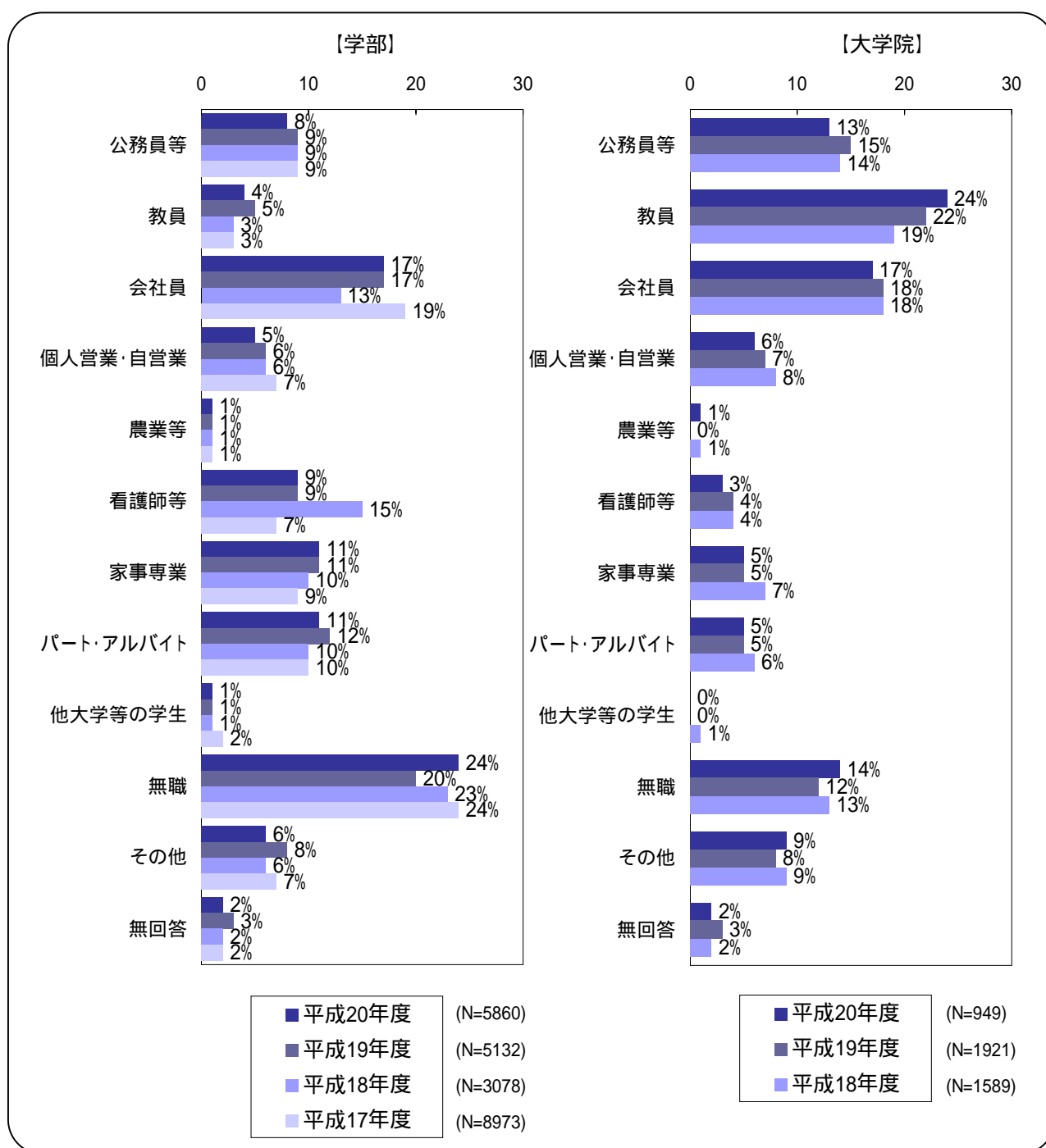
#### (4) 職業別回答者

職業別に回答者の分布を見ると(図1-3)、学部では無職層が24%と最も多く、次いで会社員17%、家事専業11%、パート・アルバイト11%、看護師等9%、公務員等8%となっており、有職者(パート・アルバイト含む)は全体の6割程度を占めている。

一方、大学院では、教員が24%で最も多く、次いで会社員17%、無職14%、公務員等13%が多くなっており、有職者は8割程度を占める。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 職業別回答者



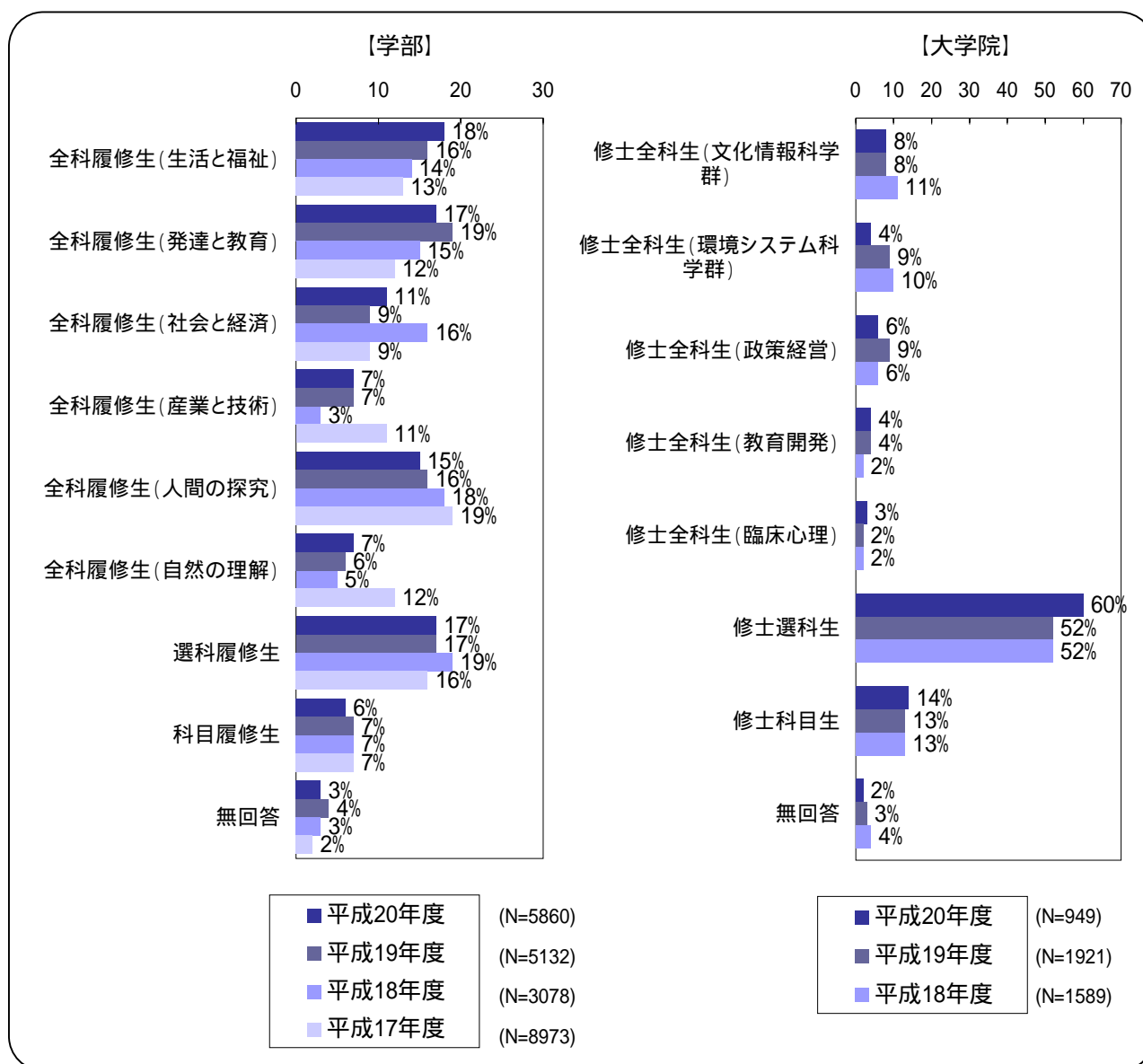


( 5 ) 所属専攻別回答者

次に学生の所属専攻(プログラム)別の分布を見ると(図1-4)、学部では全履修生の「生活と福祉」18%、「発達と教育」17%、選科履修生17%、「人間の探究」15%とやや多くなっている。「産業と技術」「自然の理解」及び科目履修生はそれぞれ6~7%と少なくなっている。

大学院では修士選科生が60%を占めており、修士科目生が14%、その他はいずれも10%以下と少なくなっている。

図1-4 学生の所属専攻(プログラム)別回答者



## - 6 . 評価結果の提供と公表

### - 6 - 1 . 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) 専攻主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教育課程編成委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～17頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

### - 6 - 2 . 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

#### (1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示すような形態で公表していくこととする。

#### (2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等

回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数

評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値

自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

#### (3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

# 提供資料サンプル【学部】

学部

平成20年度学生による授業評価の調査結果(単純集計)

専攻名

科目名(コード):

(R)

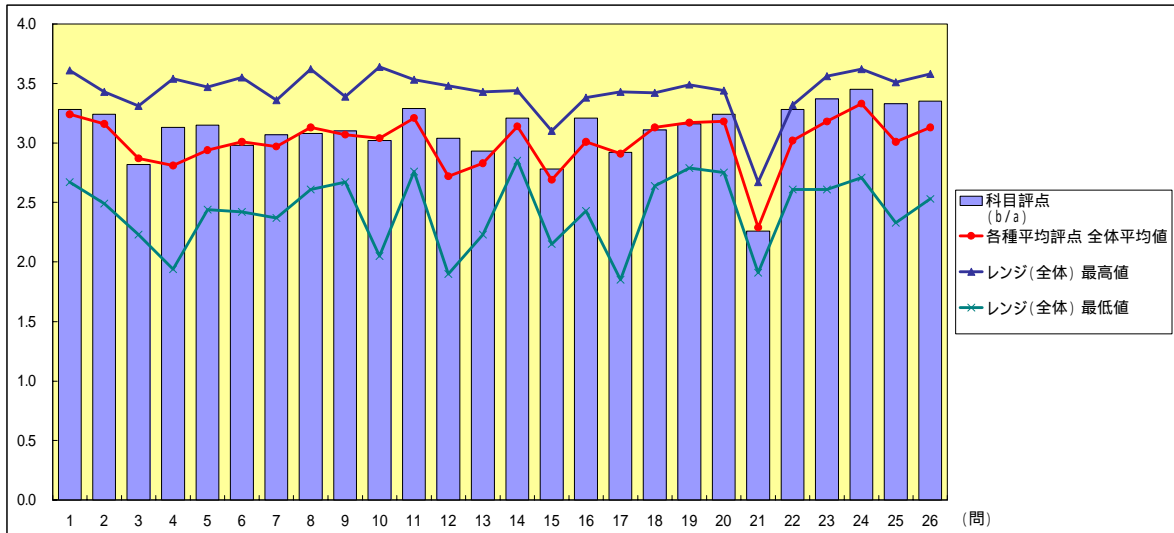
教員氏名:

## 1. 各設問における評点

設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ(全体)	
				全体平均値	TV又はRのみ	同一専攻のみ	最高値	最低値
問1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	92	302	3.28	3.24	3.21	3.22	3.61	2.67
問2 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	89	288	3.24	3.16	3.17	3.19	3.43	2.49
放送授業								
問3 放送授業を十分に視聴した。	90	254	2.82	2.87	2.76	2.95	3.31	2.23
問4 自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	87	272	3.13	2.81	2.85	2.81	3.54	1.94
問5 放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	87	274	3.15	2.94	2.93	2.97	3.47	2.44
問6 放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	86	256	2.98	3.01	2.86	3.17	3.55	2.42
問7 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	86	264	3.07	2.97	2.90	3.09	3.36	2.37
問8 講師の熱意が十分に伝わった。	86	265	3.08	3.13	3.05	3.26	3.62	2.61
問9 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	82	254	3.10	3.07	2.98	3.12	3.39	2.67
問10 (この科目がテレビ科目の場合)テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	84	254	3.02	3.04	2.86	3.12	3.64	2.05
印刷教材								
問11 印刷教材を熱心に学習した。	92	303	3.29	3.21	3.21	3.18	3.53	2.76
問12 自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	92	280	3.04	2.72	2.78	2.73	3.48	1.90
問13 印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	92	270	2.93	2.83	2.84	2.86	3.43	2.23
問14 印刷教材と放送授業との内容的な関連性は適切だった。	86	276	3.21	3.14	3.11	3.14	3.44	2.85
問15 印刷教材と放送授業には重複が多いと感じた。	86	239	2.78	2.69	2.59	2.78	3.10	2.15
問16 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	90	289	3.21	3.01	3.03	3.05	3.38	2.43
問17 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	88	257	2.92	2.91	2.77	2.89	3.43	1.85
問18 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	92	286	3.11	3.13	3.11	3.17	3.42	2.64
通信指導								
問19 通信指導のコメントは納得のいくものだった。	90	284	3.16	3.17	3.21	3.25	3.49	2.79
問20 通信指導は学習内容の理解に役立った。	91	295	3.24	3.18	3.19	3.21	3.44	2.75
問21 単位認定試験にはほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	90	203	2.26	2.29	2.17	2.41	2.67	1.91
問22 単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	90	295	3.28	3.02	3.05	3.05	3.32	2.61
全体評価								
問23 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	91	307	3.37	3.18	3.13	3.25	3.56	2.61
問24 新しい知識が身につく視野が広がった。	92	317	3.45	3.33	3.30	3.32	3.62	2.71
問25 この科目の内容を全体としてよく理解できた。	92	306	3.33	3.01	3.03	3.02	3.51	2.33
問26 この科目の内容には全体として満足している。	92	308	3.35	3.13	3.12	3.18	3.58	2.53

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。

(評点)



## 2. 回答者の属性

(単位:人)

学生種別	全科履修生							選科履修生	科目履修生	無回答	計		
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解	[小計]						
	25	30	6	3	16	0	80	9	1	2	92		
性別	男性	女性	無回答	計									
	31	59	2	92									
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計				
	1	8	14	30	23	12	3	1	92				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	6	4	18	8	1	12	15	12	0	13	2	1	92
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答								
	受験	未受験	未提出										
	86	3	0	3									

学部

平成20年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計)

		問1						問2						問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
		4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答				
学生種別	全科履修生	生活と福祉	3.32 25	40% 10	52% 13	8% 2	0% 0	0% 0	3.08 25	20% 5	64% 16	12% 3	0% 0	4% 1	2.68 25	28% 7	32% 8	20% 5	20% 5	0% 0
		発達と教育	3.43 30	57% 17	30% 9	13% 4	0% 0	0% 0	3.53 30	60% 18	37% 11	0% 0	3% 1	0% 0	3.14 30	43% 13	30% 9	17% 5	7% 2	3% 1
		社会と経済	3.67 6	67% 4	33% 2	0% 0	0% 0	0% 0	3.50 6	67% 4	17% 1	17% 1	0% 0	0% 0	3.17 6	33% 2	50% 3	17% 1	0% 0	0% 0
		産業と技術	2.67 3	33% 1	0% 0	67% 2	0% 0	0% 0	3.00 3	0% 0	100% 3	0% 0	0% 0	0% 0	2.33 3	33% 1	0% 0	33% 1	33% 1	0% 0
		人間の探究	3.00 16	38% 6	31% 5	2% 4	6% 1	0% 0	2.93 16	31% 5	31% 5	25% 4	6% 1	6% 1	3.06 16	44% 7	31% 5	13% 2	13% 2	0% 0
		自然の理解	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
		[小計]	3.30 80	48% 38	36% 29	15% 12	1% 1	0% 0	3.26 80	40% 32	45% 36	10% 8	3% 2	3% 2	2.95 80	38% 30	31% 25	18% 14	13% 10	1% 1
	選科履修生	3.22 9	22% 2	78% 7	0% 0	0% 0	0% 0	3.11 9	33% 3	44% 4	22% 2	0% 0	0% 0	1.88 9	11% 1	11% 1	22% 2	44% 4	11% 1	
	科目履修生	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	2.00 1	0% 0	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	
	無回答	3.00 2	0% 0	100% 2	0% 0	0% 0	0% 0	3.00 2	0% 0	50% 1	0% 0	0% 0	50% 1	2.00 2	0% 0	50% 1	0% 0	50% 1	0% 0	
計	3.28 92	44% 40	42% 39	13% 12	1% 1	0% 0	3.24 92	38% 35	46% 42	11% 10	2% 2	3% 3	2.82 92	34% 31	29% 27	19% 17	16% 15	2% 2		
性別	男性	3.48 31	48% 15	52% 16	0% 0	0% 0	3.41 31	45% 14	42% 13	7% 2	0% 0	7% 2	3.07 31	39% 12	32% 10	13% 4	10% 3	7% 2		
	女性	3.20 59	42% 25	37% 22	19% 11	2% 1	3.17 59	36% 21	48% 28	12% 7	3% 2	2% 1	2.75 59	32% 19	29% 17	20% 12	19% 11	0% 0		
	無回答	2.50 2	0% 0	50% 1	50% 1	0% 0	2.50 2	0% 0	50% 1	50% 1	0% 0	0% 0	1.50 2	0% 0	0% 0	50% 1	50% 1	0% 0		
	計	3.28 92	44% 40	42% 39	13% 12	1% 1	3.24 92	38% 35	46% 42	11% 10	2% 2	3% 3	2.82 92	34% 31	29% 27	19% 17	16% 15	2% 2		
年齢	19歳以下	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0		
	20～29歳	3.00 8	25% 2	50% 4	25% 2	0% 0	3.25 8	38% 3	50% 4	13% 1	0% 0	0% 0	2.50 8	13% 1	50% 4	13% 1	25% 2	0% 0		
	30～39歳	3.36 14	50% 7	36% 5	14% 2	0% 0	3.21 14	43% 6	36% 5	21% 3	0% 0	0% 0	2.31 14	29% 4	14% 2	7% 1	43% 6	7% 1		
	40～49歳	3.13 30	40% 12	37% 11	20% 6	3% 1	3.23 30	37% 11	50% 15	13% 4	0% 0	0% 0	2.93 30	43% 13	20% 6	23% 7	13% 4	0% 0		
	50～59歳	3.48 23	52% 12	44% 10	4% 1	0% 0	3.17 23	35% 8	57% 13	0% 0	9% 2	0% 0	3.04 23	35% 8	39% 9	22% 5	4% 1	0% 0		
	60～69歳	3.50 12	50% 6	50% 6	0% 0	0% 0	3.56 12	50% 6	17% 2	8% 1	0% 0	25% 3	3.00 12	25% 3	42% 5	25% 3	0% 0	8% 1		
	70歳以上	2.67 3	0% 0	67% 2	33% 1	0% 0	3.00 3	33% 1	33% 1	33% 1	0% 0	0% 0	2.67 3	33% 1	33% 1	0% 0	33% 1	0% 0		
	無回答	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	1.00 1	0% 0	0% 0	0% 0	100% 1	0% 0		
計	3.28 92	44% 40	42% 39	13% 12	1% 1	3.24 92	38% 35	46% 42	11% 10	2% 2	3% 3	2.82 92	34% 31	29% 27	19% 17	16% 15	2% 2			
職業	公務員等	3.17 6	17% 1	83% 5	0% 0	0% 0	3.17 6	33% 2	50% 3	17% 1	0% 0	0% 0	2.00 6	17% 1	17% 1	17% 1	50% 3	0% 0		
	教員	3.25 4	50% 2	25% 1	25% 1	0% 0	3.75 4	75% 3	25% 1	0% 0	0% 0	0% 0	2.75 4	50% 2	0% 0	25% 1	25% 1	0% 0		
	会社員	3.39 18	56% 10	28% 5	17% 3	0% 0	3.33 18	39% 7	56% 10	6% 1	0% 0	0% 0	3.22 18	56% 10	17% 3	22% 4	6% 1	0% 0		
	個人営業・自営業	3.63 8	75% 6	13% 1	13% 1	0% 0	3.63 8	63% 5	38% 3	0% 0	0% 0	0% 0	2.86 8	13% 1	50% 4	25% 2	0% 0	13% 1		
	農業等	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0		
	看護師等	2.92 12	17% 2	58% 7	25% 3	0% 0	3.17 12	33% 4	50% 6	17% 2	0% 0	0% 0	2.08 12	8% 1	33% 4	17% 2	42% 5	0% 0		
	家事専業	3.33 15	47% 7	40% 6	13% 2	0% 0	3.07 15	33% 5	40% 6	13% 2	7% 1	7% 1	2.93 15	47% 7	13% 2	27% 4	13% 2	0% 0		
	パート・アルバイト	3.25 12	50% 6	33% 4	8% 1	8% 1	3.00 12	33% 4	42% 5	17% 2	8% 1	0% 0	3.00 12	25% 3	58% 7	8% 1	8% 1	0% 0		
	他大学等の学生	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0		
	無職	3.38 13	46% 6	46% 6	8% 1	0% 0	3.18 13	31% 4	39% 5	15% 2	0% 0	15% 2	3.17 13	39% 5	39% 5	8% 1	8% 1	1% 1		
	その他	3.00 2	0% 0	100% 2	0% 0	0% 0	3.00 2	0% 0	100% 2	0% 0	0% 0	0% 0	2.50 2	0% 0	50% 1	50% 1	0% 0	0% 0		
	無回答	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	3.00 1	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	1.00 1	0% 0	0% 0	0% 0	100% 1	0% 0		
計	3.28 92	44% 40	42% 39	13% 12	1% 1	3.24 92	38% 35	46% 42	11% 10	2% 2	3% 3	2.82 92	34% 31	29% 27	19% 17	16% 15	2% 2			
試験 通信指導・単位認定	受験	3.31 86	45% 39	42% 36	12% 10	1% 1	3.25 86	40% 34	44% 38	11% 9	2% 2	4% 3	2.84 86	35% 30	29% 25	19% 16	16% 14	1% 1		
	未受験	2.33 3	0% 0	33% 1	67% 2	0% 0	2.67 3	0% 0	67% 2	33% 1	0% 0	0% 0	2.50 3	0% 0	33% 1	33% 1	0% 0	33% 1		
	通信指導未提出	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0.00 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0		
	無回答	3.33 3	33% 1	67% 2	0% 0	0% 0	3.33 3	33% 1	67% 2	0% 0	0% 0	0% 0	2.67 3	33% 1	33% 1	0% 0	33% 1	0% 0		
計	3.28 92	44% 40	42% 39	13% 12	1% 1	3.24 92	38% 35	46% 42	11% 10	2% 2	3% 3	2.82 92	34% 31	29% 27	19% 17	16% 15	2% 2			

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。  
 但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。  
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

## 提供資料サンプル【学部】

． 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

人間の体の成り立ちやところをどうとらえるか、教育や臨床心理など、基本的な事を広い範囲にわたり、わかりやすく学習できた。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

印刷教材と放送授業で数値等で異なっている場合が見受けられた。何れかに統一して頂きたい。テレビ科目の利点を活かして印刷教材に明示されている以外の絵や映像をもっと盛り込んで頂きたい（印刷教材に明示されている図の説明だけであればラジオ科目と同じ）講師が複数ということもあり、内容が一部、繰り返しになり、表現等で混乱を招く箇所が見受けられた。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

大学からの一方通行であり、内容についての質問を学生がどのようにすれば講師からの指導を受けられるのかが不明である。

． この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

． あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ を付けてください。）

(1) 学生種別	全科履修生 ( 1. 生活と福祉 2. 発達と教育 3. 社会と経済 4. 産業と技術 5. 人間の探究 6. 自然の理解 ) 7. 選科履修生 8. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ( )

どうもありがとうございました。

大学院

平成20年度学生による授業評価の調査結果(単純集計)

プログラム名

科目名(コード):

(TV)

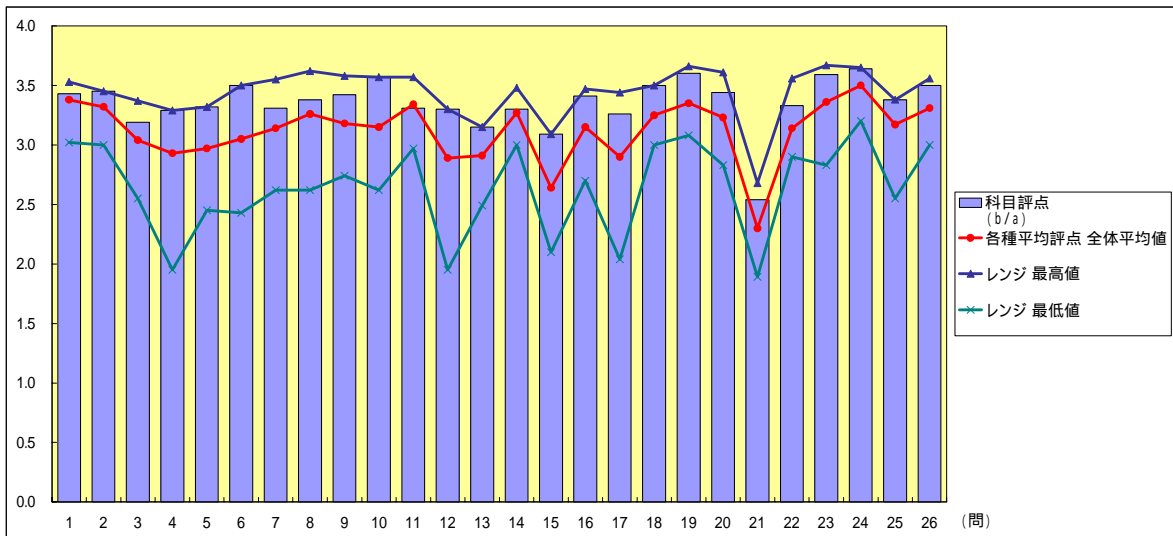
教員氏名:

1. 各設問における評点

	設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ		
					全体平均値	TV又はRのみ	同一プログラムのみ	最高値	最低値	
問 1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	70	240	3.43	3.38	3.38	3.42	3.53	3.02	
問 2	授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	69	238	3.45	3.32	3.32	3.41	3.45	3.00	
放送授業	問 3 放送授業を十分に視聴した。	69	220	3.19	3.04	3.14	3.17	3.37	2.55	
	問 4 自分にとって放送授業の内容は難しすぎと感じた。	68	224	3.29	2.93	2.91	3.17	3.29	1.95	
	問 5 放送授業の内容は分量が多すぎと感じた。	68	226	3.32	2.97	2.97	3.13	3.32	2.45	
	問 6 放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	68	238	3.50	3.05	3.26	3.26	3.50	2.43	
	問 7 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	68	225	3.31	3.14	3.25	3.32	3.55	2.62	
	問 8 講師の熱意が十分に伝わった。	68	230	3.38	3.26	3.34	3.34	3.62	2.62	
	問 9 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	66	226	3.42	3.18	3.30	3.31	3.58	2.74	
	問 10 (この科目がテレビ科目の場合)テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	68	243	3.57	3.15	3.35	3.31	3.57	2.62	
	印刷教材	問 11 印刷教材を熱心に学習した。	70	232	3.31	3.34	3.31	3.37	3.57	2.97
		問 12 自分にとって印刷教材の内容は難しすぎと感じた。	69	228	3.30	2.89	2.85	3.11	3.30	1.95
問 13 印刷教材の内容は分量が多すぎと感じた。		68	214	3.15	2.91	2.91	2.97	3.15	2.49	
問 14 印刷教材と放送授業との内容的な関連性は適切だった。		67	221	3.30	3.27	3.31	3.36	3.48	3.00	
問 15 印刷教材と放送授業には重複が多いと感じた。		67	207	3.09	2.64	2.78	2.78	3.09	2.10	
問 16 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。		69	235	3.41	3.15	3.20	3.31	3.47	2.70	
問 17 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。		69	225	3.26	2.90	3.13	2.79	3.44	2.04	
問 18 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。		68	238	3.50	3.25	3.32	3.39	3.50	3.00	
通信指導・単位認定試験	問 19 通信指導のコメントは納得のいくものだった。	68	245	3.60	3.35	3.35	3.29	3.66	3.08	
	問 20 通信指導は学習内容の理解に役立った。	68	234	3.44	3.23	3.25	3.29	3.61	2.83	
	問 21 単位認定試験にはほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	63	160	2.54	2.30	2.36	2.39	2.68	1.89	
	問 22 単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	64	213	3.33	3.14	3.17	3.25	3.56	2.90	
全体評価	問 23 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	69	248	3.59	3.36	3.44	3.48	3.67	2.83	
	問 24 新しい知識が身につく視野が広がった。	69	251	3.64	3.50	3.55	3.53	3.65	3.20	
	問 25 この科目の内容を全体としてよく理解できた。	68	230	3.38	3.17	3.18	3.26	3.38	2.55	
	問 26 この科目の内容には全体として満足している。	68	238	3.50	3.31	3.37	3.40	3.56	3.00	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。

(評点)



2. 回答者の属性

(単位:人)

学生種別	修士全科生						修士選科生	修士科目生	無回答	計			
	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理	[小計]							
	18	2	2	0	0	22	38	9	2	71			
性別	男性	女性	無回答	計									
	39	29	3	71									
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計				
	0	1	5	6	17	25	16	1	71				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	5	7	7	9	1	0	9	4	0	20	6	3	71
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答							計	
	受験	未受験	未提出								71		
	59	7	3	2								71	



大学院

平成20年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計)

学生種別	属性	問1							問2							問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答	4		3	2	1	無回答	4	3		2	1	無回答			
学生種別	修士全科生	文化情報科学群	3.56	67%	22%	11%	0%	0%	3.61	61%	39%	0%	0%	0%	2.82	28%	33%	22%	11%	6%		
		環境システム科学群	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%		
		政策経営	4.00	50%	0%	0%	0%	50%	4.00	50%	0%	0%	0%	50%	4.00	50%	0%	0%	0%	50%		
		教育開発	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%		
		臨床心理	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%		
		[小計]	3.57	64%	23%	9%	0%	5%	3.62	59%	36%	0%	0%	5%	2.95	32%	32%	18%	9%	9%		
	修士選科生	3.37	50%	37%	13%	0%	0%	3.43	42%	55%	0%	0%	3%	3.29	50%	32%	16%	3%	0%			
	修士科目生	3.56	56%	44%	0%	0%	0%	3.44	56%	33%	11%	0%	0%	3.56	67%	22%	11%	0%	0%			
	無回答	2.50	50%	0%	0%	50%	0%	2.00	0%	50%	0%	50%	0%	2.00	0%	50%	0%	50%	0%			
	計	3.43	55%	32%	10%	1%	1%	3.45	48%	47%	1%	1%	3%	3.19	45%	31%	16%	6%	3%			
性別	男性	3.51	59%	33%	8%	0%	0%	3.56	59%	39%	3%	0%	0%	3.23	49%	31%	15%	5%	0%			
	女性	3.39	52%	31%	14%	0%	3%	3.37	35%	59%	0%	0%	7%	3.15	38%	35%	17%	3%	7%			
	無回答	2.67	33%	33%	0%	33%	0%	2.67	33%	33%	0%	33%	0%	3.00	67%	0%	0%	33%	0%			
	計	3.43	55%	32%	10%	1%	1%	3.45	48%	47%	1%	1%	3%	3.19	45%	31%	16%	6%	3%			
年齢	19歳以下	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%			
	20~29歳	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	1.00	0%	0%	0%	100%	0%			
	30~39歳	4.00	80%	0%	0%	0%	20%	4.00	80%	0%	0%	20%	3.50	40%	40%	0%	0%	20%	0%			
	40~49歳	3.00	33%	33%	33%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	2.33	33%	0%	33%	33%	0%			
	50~59歳	3.35	41%	53%	6%	0%	0%	3.41	47%	47%	6%	0%	0%	3.12	35%	41%	24%	0%	0%			
	60~69歳	3.40	56%	28%	16%	0%	0%	3.48	48%	52%	0%	0%	0%	3.36	52%	32%	16%	0%	0%			
	70歳以上	3.69	69%	31%	0%	0%	0%	3.53	50%	44%	0%	0%	6%	3.53	56%	31%	6%	0%	6%			
	無回答	1.00	0%	0%	0%	100%	0%	1.00	0%	0%	0%	100%	0%	1.00	0%	0%	0%	100%	0%			
計	3.43	55%	32%	10%	1%	1%	3.45	48%	47%	1%	1%	3%	3.19	45%	31%	16%	6%	3%				
職業	公務員等	3.20	20%	80%	0%	0%	0%	3.60	60%	40%	0%	0%	0%	2.60	20%	40%	20%	20%	0%			
	教員	3.86	86%	14%	0%	0%	0%	3.71	71%	29%	0%	0%	0%	3.71	71%	29%	0%	0%	0%			
	会社員	3.43	57%	29%	14%	0%	0%	3.71	71%	29%	0%	0%	0%	3.00	43%	14%	43%	0%	0%			
	個人営業・自営業	3.22	44%	33%	22%	0%	0%	3.22	22%	78%	0%	0%	0%	3.11	44%	22%	33%	0%	0%			
	農業等	2.00	0%	0%	100%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	1.00	0%	0%	0%	100%	0%			
	看護師等	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%			
	家事専業	3.38	44%	33%	11%	0%	11%	3.63	56%	33%	0%	0%	11%	3.25	44%	22%	22%	0%	11%			
	パート・アルバイト	3.50	50%	50%	0%	0%	0%	3.25	50%	25%	25%	0%	0%	3.25	50%	25%	25%	0%	0%			
	他大学等の学生	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0%	0%	0%	0%	0%			
	無職	3.55	60%	35%	5%	0%	0%	3.47	45%	50%	0%	0%	5%	3.37	50%	35%	5%	5%	5%			
	その他	3.50	67%	17%	17%	0%	0%	3.17	17%	83%	0%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%			
	無回答	3.00	67%	0%	0%	33%	0%	2.67	33%	33%	0%	33%	0%	2.67	33%	33%	0%	33%	0%			
	計	3.43	55%	32%	10%	1%	1%	3.45	48%	47%	1%	1%	3%	3.19	45%	31%	16%	6%	3%			
試験 通信指導・単位認定	単試験認定	3.54	61%	32%	7%	0%	0%	3.52	53%	44%	2%	0%	2%	3.33	51%	32%	12%	3%	2%			
	未受検	3.00	43%	14%	43%	0%	0%	3.43	43%	57%	0%	0%	0%	2.57	29%	14%	43%	14%	0%			
	通信指導未提出	3.00	0%	67%	0%	0%	33%	3.00	0%	67%	0%	0%	33%	2.50	0%	33%	33%	0%	33%			
	無回答	2.00	0%	50%	0%	50%	0%	2.00	0%	50%	0%	50%	0%	2.00	0%	50%	0%	50%	0%			
	計	3.43	55%	32%	10%	1%	1%	3.45	48%	47%	1%	1%	3%	3.19	45%	31%	16%	6%	3%			

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。  
 但し、設問4、5、6、12、13、15、21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。  
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

． 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

たいへん興味深く学んだ。仕事上コミュニティワークを使っていたが、問題解決に当たって行きづまりを感じていた。しかし、この科目を学び、現在かかえている課題に、糸口をつかんだように感じた。もっと深く学びたいと思っている。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

講師の先生によっては、印刷教材を読むだけの放送でした。事前にテキストを読んだ上で毎回放送を聴いている私にとっては、時間のムダです。とても多忙な中、夜中に真剣に取り組んでいるつもりです。ご配慮願いたい。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

大学教育の真髄は 物事の現象の説明のみならず 何故そのような現象が起きるのか どうすればよいのか、を修得することにある。 教授の授業は、 に優れており、自分で考える能力の養成を訴えかけている。学説の単なる紹介ではなく、何故そのような理論が生まれたのか、その理論の限界はどこに、あるのかを常に説明しながら進行する、放送大学では極めて珍しい、本格的「学問」の追求の姿勢がある。殆んどどの科目は で止まっているので、物識りにはなるが、判断能力は向上しない。講義も終始立って視聴者に語りかけている。これが教育というものであろう。

． この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

． あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ を付けてください。)

(1) 学生種別	修士全科生 ( 1. 文化情報科学群 2. 環境システム科学群 3. 政策経営 4. 教育開発 5. 臨床心理 ) 7. 修士選科生 8. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他( )

どうもありがとうございました。